令和4年度　愛耕幼稚園学校評価

今年度も一年を振り返りながら、幼稚園の幼児教育の質の向上のために学校評価を行わせて頂きました。
「保護者アンケート」「公開保育」「自己評価・学校関係者評価」をご報告致します。

令和4年度 「保護者アンケート」の集計結果について

「保護者アンケート」の集計結果をまとめましたのでご覧下さい。

アンケートは、70家庭のご回答を頂きました。結果は下記の通りです。
A＝あてはまる　B＝ややあてはまる　C＝あまりあてはまらない　D＝あてはまらない

	A	B	C	D
1. 幼稚園の目標や保育内容がわかるように、説明や情報を発信している。	72.5%	27.5%		
2. 保育の活動状況や様子を伝えている。	82.6%	17.4%		
3. お子さんは、幼稚園に行くのを楽しみにしている。	76.8%	23.2%		
4. お子さんは、家庭で幼稚園の友達や先生の話をする。	71.0%	26.1%	2.9%	
5. お子さんは、集団生活ならではの楽しさや喜びを体験していると思う。	79.7%	20.3%		
6. お子さんは、幼稚園での生活を通して成長していると思う。	91.3%	8.7%		
7. 子ども達の自立（意欲や主体性）を育む保育をしている。	84.1%	15.9%		
8. 自他を大切にする心や、感謝の心など、心を育む保育をしている。	79.7%	20.3%		
9. 子どもが安心し、生活しやすい幼稚園（環境）だと思う。	87.0%	13.0%		
10. 保育の内容が、子どもの成長の為に考慮・工夫されている。	88.4%	11.6%		
11. 教員は子どもを理解して、誠実に保育をしている。	87.0%	13.0%		
12. お子さんの様子や連絡などを適切に伝えている。	69.6%	30.4%		
13.保護者からの相談に対して誠実に対応している。	87.0%	13.0%		
14.園は、地震・津波・火災・不審者等に対しての防災に取り組んでいる。	85.5%	14.5%		
15.緊急連絡がスムーズに伝わるように工夫している。	84.1%	15.9%		
16.園は、新型感染症の対策を適宜行っている。	74.0%	24.6%	1.4%	

ご意見欄にはたくさんのご意見を頂きました。多かったお声や単独のご意見を、一部掲載させて頂きます。

＜教師の対応について＞
・子どものことを思った対応に感謝している。
・担任はもちろん、園全体で子ども達を見守ってくれている。
・程よい距離感で見守ってもらい感謝している。
・いつも明るく、ニコニコしていてとても気持ちがいい。
・こちらに非がある時にも、丁寧に対応してくれる。

・子ども達一人一人の育ちに寄り添えるよう、努力して参りたいと思います。
気になること等がありましたら、お知らせください。

＜保育について＞
・親だけでは教えられない事も、活動や遊びを通した指導に、子どもの成長を感じる。
・子ども達の伸びを育む成功体験を与えてもらっている。
・心のこもった誠実な保育をしている。
・優しさをもらって、優しさをもって返せる子どもに育っている。
・異年齢で関わる機会、活動も嬉しい。

・『おのおの自分のことばかりでなく、他人のことも考えなさい』という建学の精神を大切にしながら、今後も子ども達の成長に必要な保育を考えていきたいと思います。
・今年度は、異年齢の交流を多く取り入れた保育ができて、子ども達も多様な経験を楽しめたと思います。
今後も子ども達の育ち合いを大切に見守って参りたいと思います。

＜感染症予防について＞

・消毒作業等、保育以外の仕事も増えていると思う。子ども達の安心、安全のために日々たくさんの配慮をしていると感じる。
・感染対策を講じながら、工夫して園行事を開催し手厚いケアをしていると思う。
・新型感染症の発生状況について、人数等がメールで確認できてわかりやすくなった。
・親子遠足、祖父母参観を再開して欲しい。また、大きな行事は家族2名の参加にして欲しい。

・感染症の対策については、今後も文科省や専門機関からの情報により、子ども達の健康を考えながら対応したいと思います。保護者の皆様にもお知らせしながら、安心して頂ける配慮をしていきたいと思います。
・園行事や参加人数の制限は、行事の内容によって対策を検討している状況です。市中の状況に合わせて、安全を考えながら運営して参りたいと思います。

＜連絡・配布物について＞

・連絡帳での先生とのやり取りを通して、安心している。
・クラス便りは、手書きで大変だと思うが楽しみにしている。子どもが大きくなるまで取っておきたい。
・仕事で直接先生と話す機会が少ない。連絡帳もあるが、伝わっているか不安になる。直接話す機会をこちらからも心掛けたいと感じる。
・ラインはトラブルが多いと聞くので、一斉の連絡がマチコミでよかった。
・年間予定表はあるが、毎月の予定表をもう少し早めに欲しい。

・今後も子ども達の成長の様子を、ご家族と共有させて頂けるよう考えたいと思います。
・保護者の方にご参加頂く行事については、早めにお知らせ出来るよう配慮したいと思います。ご確認されたい事は、遠慮なく園にお問合せください。
・SNS の利用については、様々な課題も皆様と一緒に考えて参りたいと思います。

<DVD・写真について>

・誕生会の DVD も購入したい。また、カレー会食の様子も見たい。
・購入写真の写りが良くなると嬉しい。価格は上がっても業者にお願いしても良いのではないか。
・行事の写真はすべて撮れるようにして欲しい。以前はよかったと思う。

・保育中の〝キラッ〟とした瞬間を保育者が撮影するため、はっきりしない画像もあると思います。専門業者に委託した場合の、良い点と起こる課題について検討したいと思います。
・誕生会の DVD 購入と内容について検討したいと思います。
・撮影については、幼稚園で受け継がれてきた願いや考えから、礼拝や式典や一部の行事の撮影は全て業者に頼んだり、保護者撮影は控えて頂いたりとご協力をお願いして参りました。保護者様も参加者になって頂きたい等の願いがあっての事ですが、行事ごとに大切にしたい事やルールを再考して参りたいと思います。又、コロナ対策での行事や撮影の普段と違う行い方には、ご協力を頂きまして大変申し訳なく感謝しております。

＜その他＞

・給食のメニューを参考にしたいので、写真などで見たい。
・幼稚園駐車場前のカーブミラーが曇っていると怖い。拭いてもらい安心した。

・給食メニューの写真ですが、給食たよりでお知らせできるか考えたいと思います。
・安全のため、カーブミラーや周辺道路は点検したいと思います。気になった際にはお知らせください。

皆様のご意見を、ありがとうございました。
お声を今後の保育に生かせるよう、教職員で話し合って参りたいと思います。
これからも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和４年度　愛耕幼稚園　公開保育報告

今年度、年長青組は年間を通して「自然・資源・環境」について考えてみました。その一つとして１月 26 日(木)に「リサイクル」を主題にして、一年間の楽しかった取り組みも思い出しながら、皆で一緒に考えてみました。この様子を参観くださった方々からは、保育についての貴重なご意見を頂くことができました

日　　時　　令和５年 １月 26 日 木曜日　午前 10 時～

場　　所　　愛耕幼稚園の年長(青組)教室とホール
教会の会堂

参観者様　　市教育委員会 教育コーディネーター
市内小学校教諭
学校関係者評価委員(当園 PTA 代表)

スケジュール

	時　間	場　所
受付	９：４５～	教会会堂
オリエンテーション	１０：００	〃
公開保育(年長組)	１０：１５～１１：１５ ・１０：１５　朝の礼拝 ・１０：３０　設定保育	幼稚園 年長(青組)教室 ホール
講評	１１：１５～１１：４５	教会会堂

目的

有識者から必要な指導・助言をいただき、保育の質の向上及び、
小学校教育への円滑な接続を図る。

主題

年長クラスが１年間取り組んできた活動を振り返りながら、
「リサイクル」について皆で考える

ねらい

１年を通してクラスで取り組んできた「自然・資源・環境」について、
思いや考えを友達と言葉で伝え合い，一緒に活動する楽しさを深める。

- １年間を通して知ったり経験したり考えたことを、みんなで思い出す。
- グループに分かれて考えたり、活動したり、話をまとめて発表をする。
- 自分の意見を発表し、友達と考えを共有する。
- みんなで行ってこれたことを喜び、次の意欲や自信につなげる。

参考資料

年長組の取り組み『リサイクルと環境について』

幼稚園隣を流れる「神山川」

水を飲みに来る動物

4月・・・・園外保育「神山川」
＜身近な自然に触れる＞

どこまで流れて
いくのかなぁ？

5月・・・・園外保育「徳仙丈」
＜自分達の住んでいる町の特色に触れる＞

6月・・・・ゴミについて考えよう・廃材制作「小物入れ」
＜身近な廃材の利用を考える＞

私達の町って
すごいね！！

7・8月・・・園外保育「気仙沼魚市場」
＜気仙沼の海や港について知る＞
木の枝を使った制作「キャンプ記念制作」
＜廃材からの変化を考える＞

9・10月・・気仙沼の海について知ろう「運動会競技・魚運び」
園外保育「藤沢上山観光リンゴ園」
＜森、川、海のつながりを感じる＞

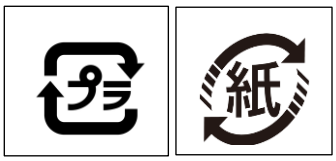
捨てたらゴミだったのに
こんなに素敵な宝物になったよ！

11・12月・・園外保育「神山川・鮭の遡上を見る」
＜森、川、海のつながりを感じる＞
クリスマスリース制作「枝のリース」
＜リサイクルについて考える＞

海から泳いで
きたんだね

神山川・鮭の遡上

1・2月・・・「ゴミ分別クイズ」
＜リサイクルについて皆で考える＞



色々なマークが
あるんだね

3月・・・・「マグロ漁船見学」
＜海やそこで働く人を知る＞
環境について考える
＜自分達にできることを考える＞

皆で読んだ本

『つなげビニーのゆめ』作：みなみたいき
『ととのはたけと うたれちゃったしか』
作：はたけやまなぎ
『ピリカ、おかあさんへの旅』
文：越智典子
『いのちはめぐる』文：島田奏子
『山に木を植えました』作：スギヤマカナヨ

普段何気なく捨てている物の「その後」について考え、リサイクルを知るきっかけになりました。
自分達の住んでいる町「気仙沼」の特色に触れ、環境を守るために〝出来る事〟を考えることが出来ました。

公開保育 参観者様のコメント（一部抜粋）

〈良かった点〉

・先生方のポジティブで子どもたちを否定しない（肯定する）言動がすばらしかった。
指導者が「ごめんね」を言うのはとてもよい手本だと思う。

・「待っているの上手だね」など、行動を具体的に先生がほめていることは、よい行動の強化になっていいと思います。(特におだやかな口調だったのも素敵でした。)

・子ども達が発言する時に自然と手をあげて指されるのを待っている。なかなか出来そうで出来ないことをスムーズに行っていた。

・グループ毎での仕分けで「難しいのでは？」と感じるティッシュの箱の本体とビニール部分の分別も、一人が気づいて取り外したり、と家庭との連携した取り組みと身近な問題(課題)を取り上げていることが、これからの子ども達を取り巻く環境を皆で意識して行動をおこせることにつながると思った。

・園外保育や魚市場見学、ペットボトルの制作、楽しい記憶の為覚えている。ポジティブな記憶を繋げて教育をしている。

・ビリーブのうたを全員がステージにあがって歌う姿に感動しました。一人一人を大切にしている保育であると感じました。

・幼稚園全体で子ども達を心豊かに育てている様子が伺われました。

〈気づいた点〉

・グループでの話し合う時間を設けても良かったのではないか。

・分別のマークについて、ひらがなでの補助や例をほりさげてもいいかも。

・人数が多いので、一人の担任がすべて把握するのは困難。分担して援助しなければならないが、まだ話を聞いてあげられないグループもあり、たいへんさを感じました。

・難しい内容でも取り組める力があると思ったので、リサイクルセンター等の処理施設見学等、実際に働いている人の声を聞く等のもよいと思う。楽しいだけではない。子ども達にも体験して欲しい。

令和４年度　自己評価・学校関係者評価報告書

1.～5. は幼稚園教職員で行った、「今年度の自己評価」についてまとめたものです。
6. は学校関係者評価委員による、今年度のご講評です。

1.　本園の教育目標

建学の精神「めいめい自分のことだけでなく、他人のことにも注意を払いなさい。」(フィリピ２：4)

- 豊かな探求心と想像力を持ち、創造的に生きる子ども
- 自己肯定感と、感謝と思いやりの心を持つ子ども
- 聞き、判断し、行動と表現ができる子ども
- 心身ともに健やかに成長する子ども

２．本年度重点的に取り組む目標・計画

自然を楽しみ、集団ならではの喜びを体験し、神様の愛の中で健やかに成長する。

3．評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	心身の健康と成長を考えた保育	B	変化する感染症対策に取り組みながら、普段の保育や一つ一つの行事で、子ども達の心と身体の健康と成長を考えながら取組んだ。
2	育ちの共有と連携	B	子ども達の生活や成長をお家の方と共有できるように、ホームページやお手紙等の充実を考えた。電話や連絡ノートやお顔を会わせてのコミュニケーションを努力した。
3	教育や体験の充実 他年齢児との関わり	A	コロナ禍でコミュニケーションの枠が狭まった保育が懸念される中、今年は運動会の縦割り保育競技を入れるなど、他年齢児との遊びや共同作業を様々行い、子ども達の経験や成長の広がりを期待した。

評価（A…十分に成果があった　B…成果があった　C…少し成果があった　D…成果がなかった）

4．総合的な評価結果

評価	理　由
B	感染症対策３年目となり、対策についての多様な考え方の中で保育を行う難しさを感じた。 それでも保護者様のご協力を頂きながら、保育を考えながら行ってこれた。

評価（A…十分に成果があった　B…成果があった　C…少し成果があった　D…成果がなかった）

5．今後取り組む課題

	課　題	具体的な取り組み方法
1	心身の健康と成長を考えた保育	コロナ禍や変化する社会の中でも、子どもの健康的な成長に必要な保育を実現できるように努力する。
2	自然や人とのコミュニケーションを伸び伸びと広げる	自然や人との関りから、子ども達が心を動かしながら、経験を広げる事ができる保育を考える。
3	子どもにとって益となる保育や教育を発信する	人の基盤となる子どもの頃の健康や成長に、必要や優良となる事を発信する。

6．学校関係者評価委員の評価

〇アンケートでたくさんの意見がでていることに驚いた。よつば会便り等で、度々気軽に意見を寄せられる機会があってもよいかと思う。　〇ミッションスクールの良さを、保護者の方にもっと発信できるとよいのではないか。　〇コロナ禍でも、園で教職員が頑張っている様子が伝わってきた。　〇一斉メールはスピード感があり保護者に伝わりやすい。園からの紙媒体の手紙も、メールやホームページを
うまく利用していくと良いと思う。
〇近頃、置去りや虐待のニュースが多かったが、きちんと保育をしてくれている安心感があった。

今年度も、教職員以外の視点でのご意見も頂きながら、幼稚園の保育について、考察を行なう事が出来ました。　学校関係者評価委員の皆様の、ご意見ご鞭撻に感謝を申し上げます。